

# 「子育て安心プラン」における保育の受け皿整備量について

## 「子育て安心プラン」推計方法

$$551\text{万人 (平成35年未就学児童数 } 1) \times 53.6\% \text{ (保育の利用申込率 } 2) \\ = 295\text{万人 (平成35年利用申込者数 (見込))}$$

$$295\text{万人 (平成35年利用申込者数 (見込))} - 263\text{万人 (平成30年利用児童数 (見込))} \\ = \underline{32\text{万人 (必要整備量)}}$$

1 「未就学児童数」は「日本の将来推計人口(平成29年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)の出生中位推計を使用。

2 「保育の利用申込率」は、「女性就業率(25～44歳)」と「保育の年齢毎の利用申込者数」との間の相関関係等から算定。

	実績						「子育て安心プラン」						
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	
女性就業率 (25-44歳)	68%	70%	71%	72%	73%	74%	75%	76%	77%	78%	79%	80%	
未就学児童数 (万人)	636	634	631	626	605	600	593	586	577	571	563	551	
保育の利用申込率	35.3%	36.1%	37.1%	39.5%	42.3%	-	-	-	-	49.9%	-	53.6%	
利用申込者数 (万人)	225	229	234	247	256	-	-	+32万人	-	295 285	-	295	
利用児童数 (万人)	218	222	227	237	246	-	263	-	-	2年前倒し			

+約17万人

「待機児童解消加速化プラン」に基づく  
平成28・29年度の拡大量見込(平成28年9月公表)